

電子書籍の利用方法

Wbookとは > Wbookの特長 > Wbookの種類 > Wbookの使い方 > 閲覧環境

1. Wbookとは

千代田 Web 図書館では Wbook (ダブルブック) という電子書籍で本をご覧いただけます。電子書籍 Wbook の名前は、満足いく (Well) ウェブ (Web) を見るとく (Watch) という意味と、書籍 (Book) を合わせた合成語です。

Wbook の名称が意味するごとく IT 技術により動画や音声といったマルチメディアファイルと、HTML で構成されたウェブのページのようなハイパーリンク、本文検索などを可能にし、デジタルならではのメリットを最大限に活用できる電子書籍です。

2. Wbookの特長

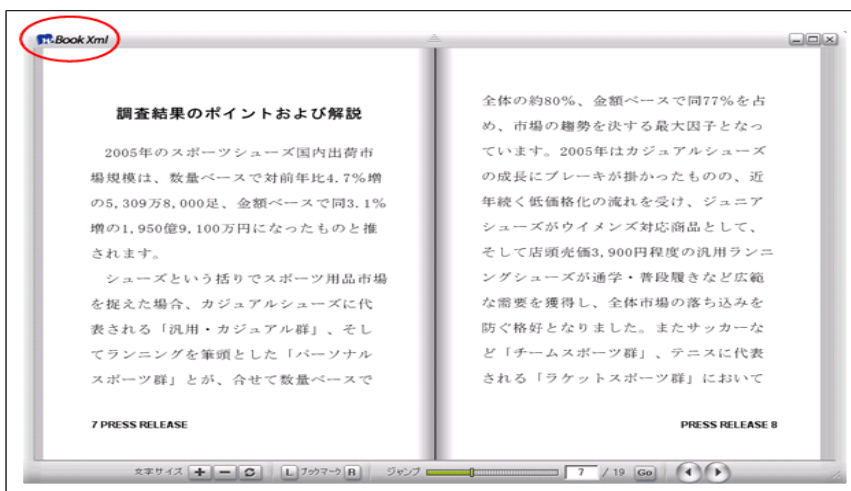
- ① 本を開く感覚で誰でも簡単に電子ブックを閲覧いただけます。
- ② 縦書き、横書き、文字拡大、ラインマーカーやメモ書き、栞機能などを支援しています。
- ③ 統合されたリーダープログラムで4つの形態の電子ブックに対応します。
- ④ パソコンのみならず、PDA、携帯電話(予定)にも対応します。
- ⑤ 本文検索を支援します。
- ⑥ 動画、音楽ファイル、そして TOEIC の OMR カードなどを挿入できるマルチメディア電子ブックです。

3. Wbookの種類

Wbook には大きくテキスト、マルチメディアに対応した XML タイプ、書籍のレイアウトをそのまま維持している PDF タイプ、動画やサウンドなどで構成された Flash タイプ、そして雑誌やカタログなどイメージをそのまま生かす Image book タイプの4つのタイプがあります。

1) Wbook Xml

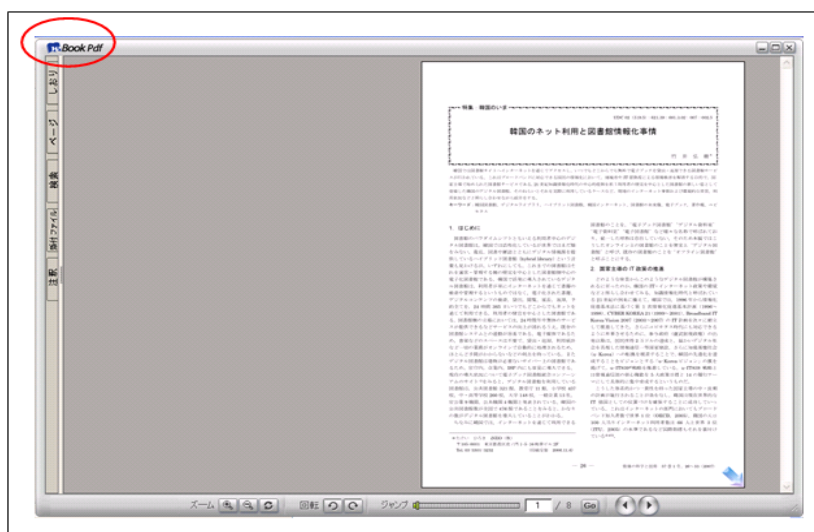
電子書籍の左上に「Wbook xml」と本のタイプが表示されています。



文字サイズの大小、縦書き、横書き、サウンド、動画ファイルといったマルチメディアの挿入が可能で、利用者は好きなフォントで見ることができます。またテキストが中心ですので、全文検索ができるのも大きな特長です。TOEIC などの問題集といった、これまでの図書館では入れられなかった書籍も電子ブックであれば可能になります。また TTS (Text to Speech)に対応したコンテンツの場合、自動的に読み上げができるようになっています。

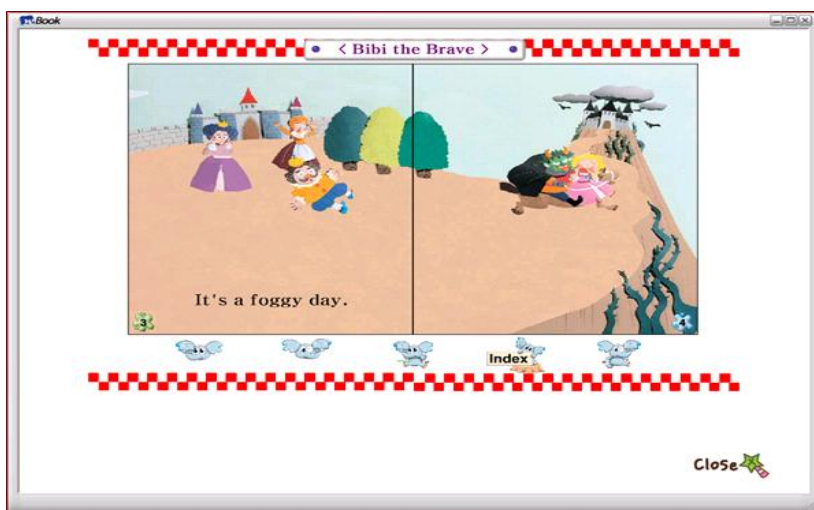
2) Wbook PDF

本の左上に「Wbook Pdf」と本のタイプが表示されています。既存のデータをそのまま活かすことができるのが特長で、PDFで作られたものであれば、そのレイアウトやデザインは維持されます。Acrobatリーダーがパソコンの中にインストールされていなくても Wbookリーダーのみインストールされていれば表示することができます。



3) Wbook Flash

フラッシュアニメーションやサウンドにより多彩な表現ができるように構成されたコンテンツです。子供達の絵本など学習用のコンテンツとして本に不慣れな子供達への興味をそそるものが多くあり、両親と一緒に遊びながら学習することができるようになっています。



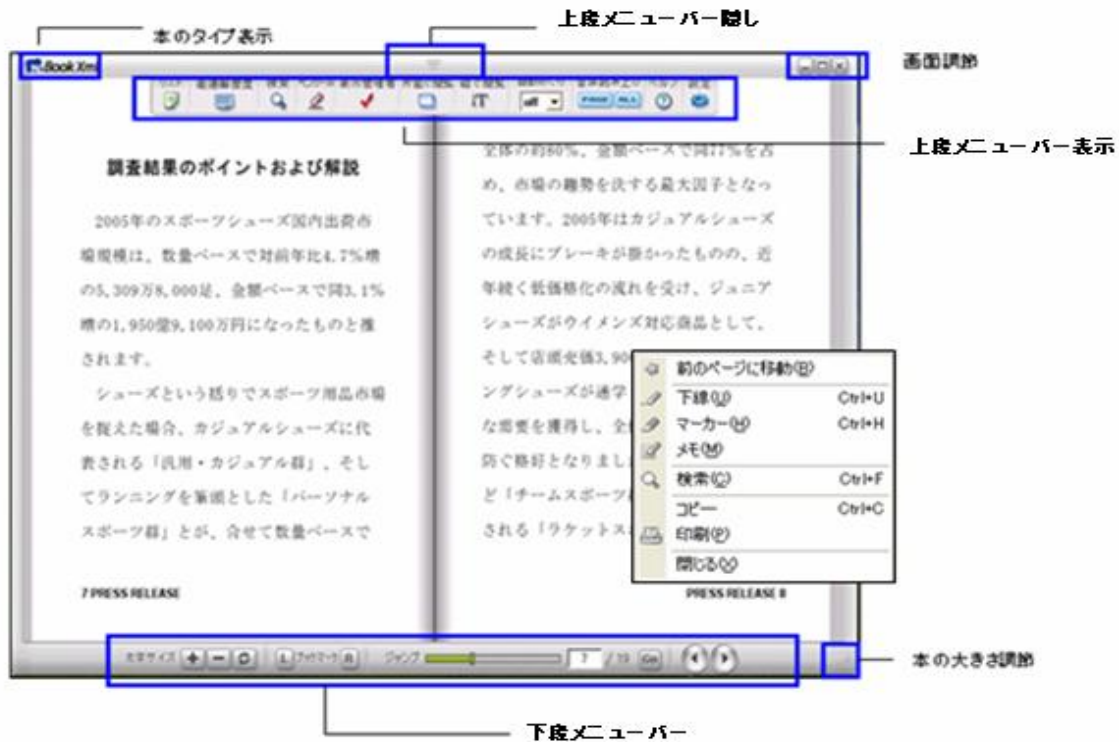
4) Wbook Image Book

電子カタログなどカタログのイメージなど DTP で作業されたイメージをそのまま表現することができるブックです。音声やフラッシュなどを張り込むこともできるようになっています。

4. Wbook の使い方

1) WbookXml リーダー

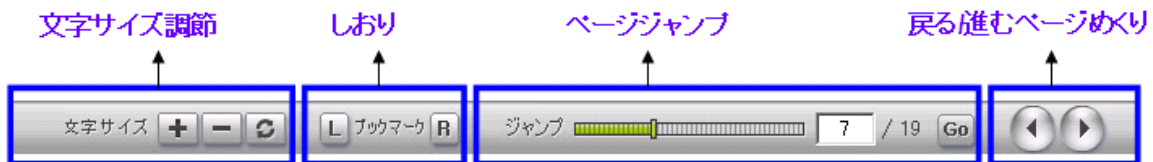
I. Wbook リーダー 画面構成



※メニューバーはマウスをリーダーの上段の▽の部分にマウスをあてると表示されます。

※ポップアップメニューはマウスの右ボタンをクリックすれば表示されます。

II. 下段メニューバー機能



※下段メニューバーでは、文字サイズを調整することができ、しおりをはさんだり、ページをめくることができます。

※戻る／進むのページめくりではマウスで該当ページをクリックしたり、キーボードの方向キーや Page Up、Page Down キーで操作できます。

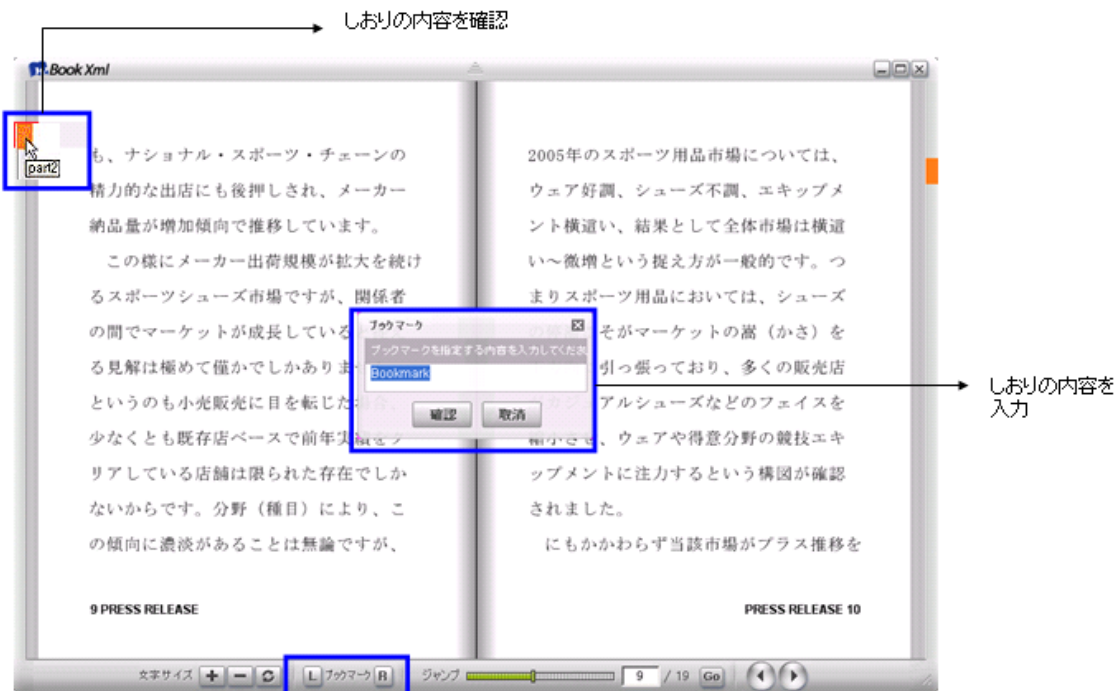
II-1. 文字の大きさ調節





※文字サイズは 50%縮小、5 倍まで拡大でき、利用者が読みやすいサイズで閲覧いただけます。

※元のサイズに変更したい場合は右端の🔄ボタンをクリックしてください。

II-2. しおり

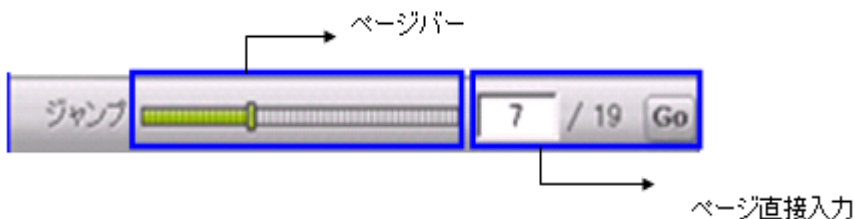


※しおりをはさみたいページにしおりを追加することができます。(左ページ 、右ページ )

※しおりを追加する際、しおりの内容を入力でき、入力されたしおりの内容はしおりにマウスをあてると表示されます。

※しおりをクリックすると、該当ページにジャンプします。しおりを削除したい場合は、消したいしおりにマウスをあてて右クリックすると削除できます。

II-3. ページめくり



※ページバーをクリックすると、該当ページにジャンプします。

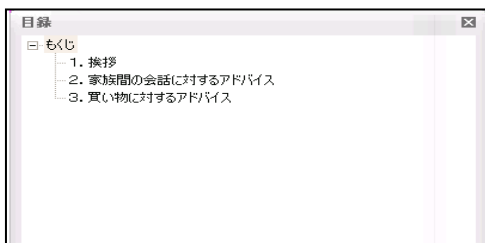
※また、閲覧したいページを直接入力して Go ボタンをクリックしても同様に該当ページに移動します。

Ⅲ. 上段メニューバー機能

上段メニューバーの表示・隠し

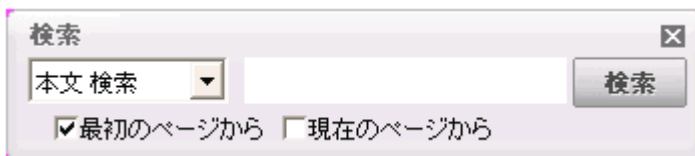


Ⅲ-1. リスト



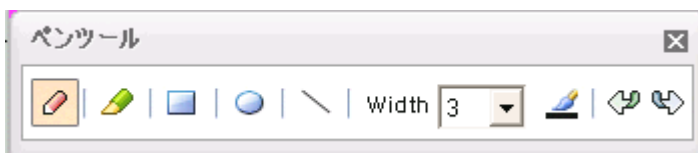
※ リストボタンをクリックすると本の目次をご確認できます。

Ⅲ-2. 検索



※ 探したい検索語を入力して本文検索できます。「最初のページ」から、または「現在のページから」を選択し、検索語を入力してください。検索ボタンをクリックし続けることで、探したい検索語のページに移動します。

Ⅲ-3. ペンツール

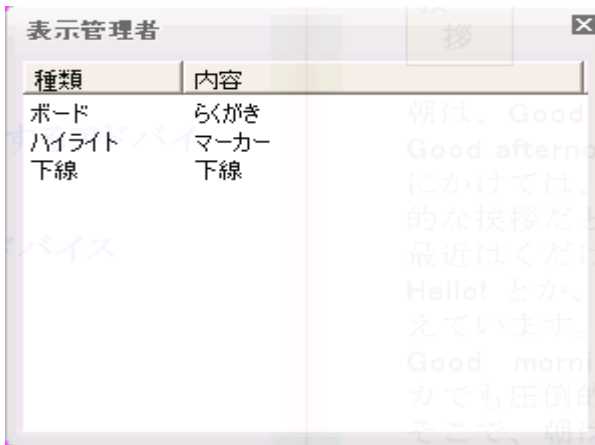


※ペンツール機能で線引き、マーカー、落書きなどができます。

※ボールペン、蛍光ペン、四角、丸、下線などさまざまなペンツールを支援し、該当ペンツールの太さ、色を変えることができます。

※右端の矢印で、書き込んだ情報を削除したり、復元することができます。

III-4. 表示管理者



※表示管理者機能を使って、落書きやメモなど、本に書き込んだ情報を一覧管理することができます。

※該当項目をダブルクリックすると、該当ページにジャンプします。例えば、下線を引いたページに移動したい場合は、下線の部分をダブルクリックしてください。

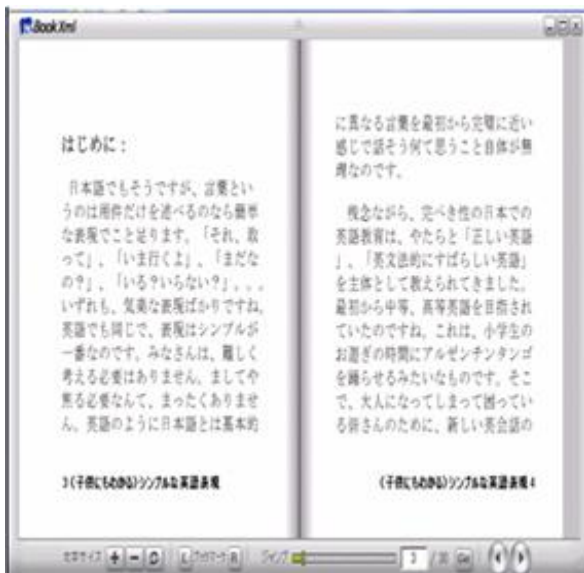
※情報を削除したい場合は、マウスの右クリックで削除できます。

III-5. 片面で閲覧/見開き閲覧

※利用者が読みやすいように、見開き閲覧、片面閲覧をお選びいただけます。

III-6. 縦書き/横書き

※利用者が読みやすいように、縦書き閲覧、横書き閲覧を設定できます。



横書き閲覧



縦書き閲覧

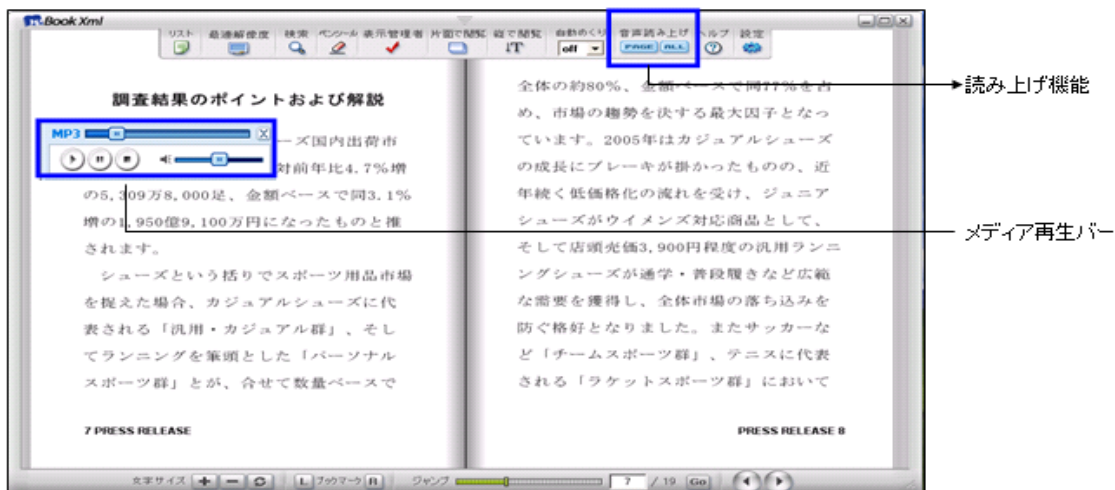
III-7. 自動めくり



※ Wbook は自動めくり機能があり、一定の時間間隔で自動的にページがめくれます。

※ 時間の間隔は 10 秒、20 秒、30 秒、40 秒、50 秒で設定できます。

III-8. 読み上げ

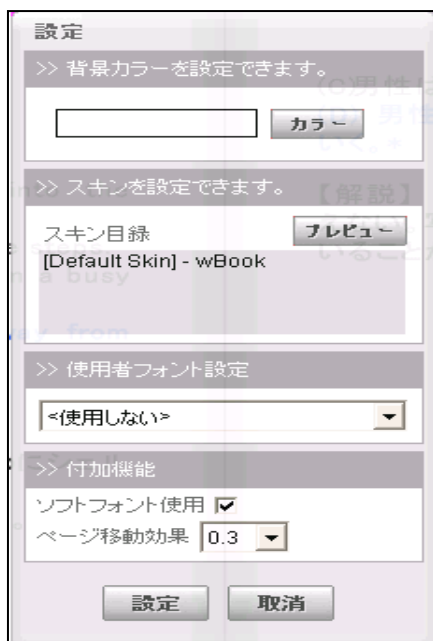


※ 自動読み上げに対応している Wbook として制作されたコンテンツの場合には読み上げ機能ボタンが表示されません。

※ 自動読み上げ機能は自動音声合成 TTS(Text to Speech) エンジンを利用した、読み上げ機能です。

※ ページ読み上げ機能を選択すると、メディア再生バーが表示され、TTS エンジンから送られてくる合成音声の流れます。

※ 読み上げ機能はページごと、全文読み上げを選択でき、全文読み上げを選択した場合は、ページは自動的にめくれます。

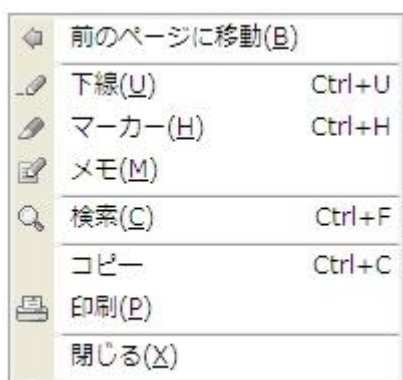


III-9. 設定

※設定機能から利用者が好む背景カラーや、スキン、書体を設定できます。

※追加機能として、可読性を高めるためのソフトなフォント使用及びページめくりの速度を設定できます。

IV. ポップアップメニュー機能



※ マウス右クリックをすると表示されるポップアップメニューです。

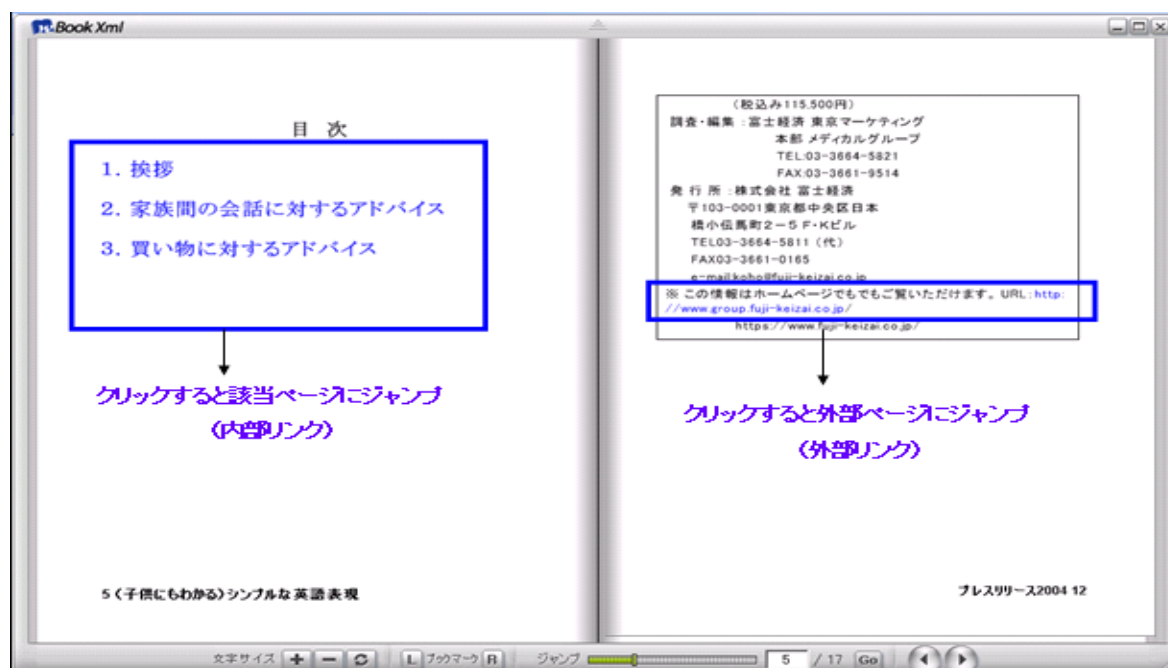
※ 下線、マーカー、検索機能は電子書籍の中の単語あるいは文章をドラックして選択した後、クリックしてください。

※ 現在のページにメモを挿入しておくと、該当ページを開くたびにメモを確認できます。

※ 書籍の印刷は出版社が許可した書籍に限り、可能となり、許可されていないものは一切印刷できません。

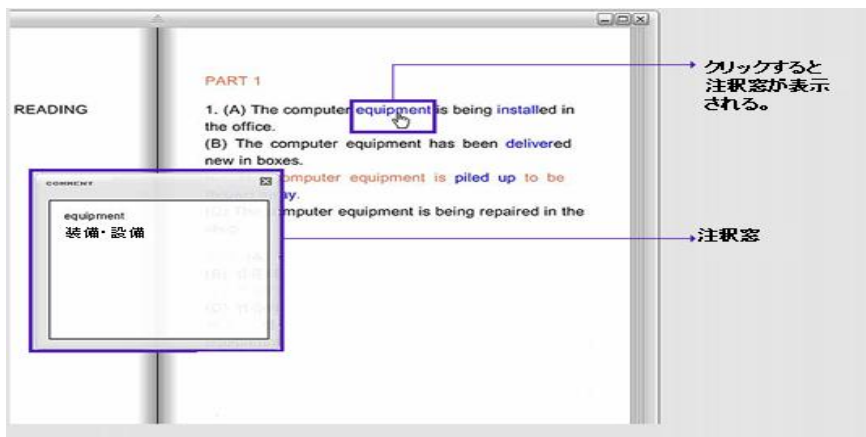
V. その他機能

V-1. ハイパーリンク



※ 電子書籍はハイパーリンクが可能で、本の内部ページや外部のウェブサイトに移動することができます。

V-2. 注釈



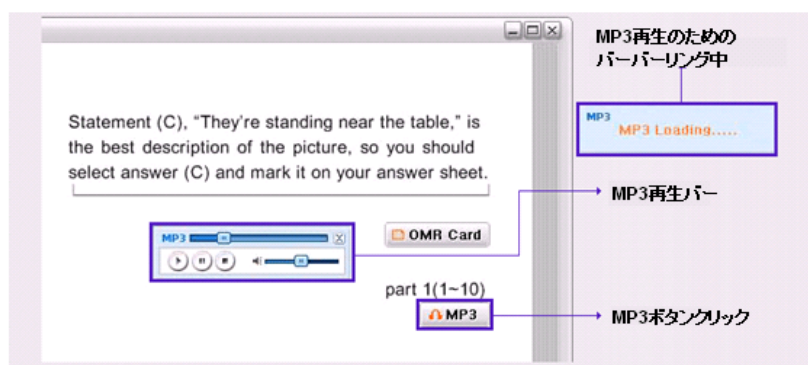
※ Wbook は注釈機能があり、青色のテキストをクリックすると補足説明の注釈を確認することができます。

V-3. 原本イメージ確認



※ イメージの上でマウスの右ボタンをクリックすると原本のイメージサイズで閲覧いただけます。

V-4. マルチメディア再生



- ※ Wbook はオーディオ、ビデオ、フラッシュなどマルチメディアの再生ができます。
- ※ MP3 ボタンやビデオボタンをクリックすると該当マルチメディアの再生窓が表示されます。

V-5. OMR カード

Directions: For each question in this part, you will hear four statements about a picture in your test book. When you hear the statements, you must select the one statement that best describes what you see in the picture. Then find the number of the question on your answer sheet and mark your answer. The statements will not be printed in your test book and will be spoken only one time.

(1～10問項)

MP3

OMR Card

OMR Card-Mp3 ボタンをクリックし
次ぎのページ
からPart1に対するテストをスタートしてください。

part 1

OMR Card Time 00:04:17

問題	1	2	3	4	正答
1				●	○ 解説
2	●				× 解説
3			●		× 解説
4				●	○ 解説
5	●				× 解説
6				●	× 解説
7				●	× 解説
8		●			× 解説
9				●	× 解説
10				●	× 解説

採点

OMR Card Time 00:04:27

正解数: 2 誤答数: 8

採点後のOMRカード

OMRカードボタンをクリック

問題を解く

※ Wbook では学習機能を支援する OMR カード機能があり、OMR カードをクリックすると、実際にテストを受けるように問題を解き進めていくことができます。

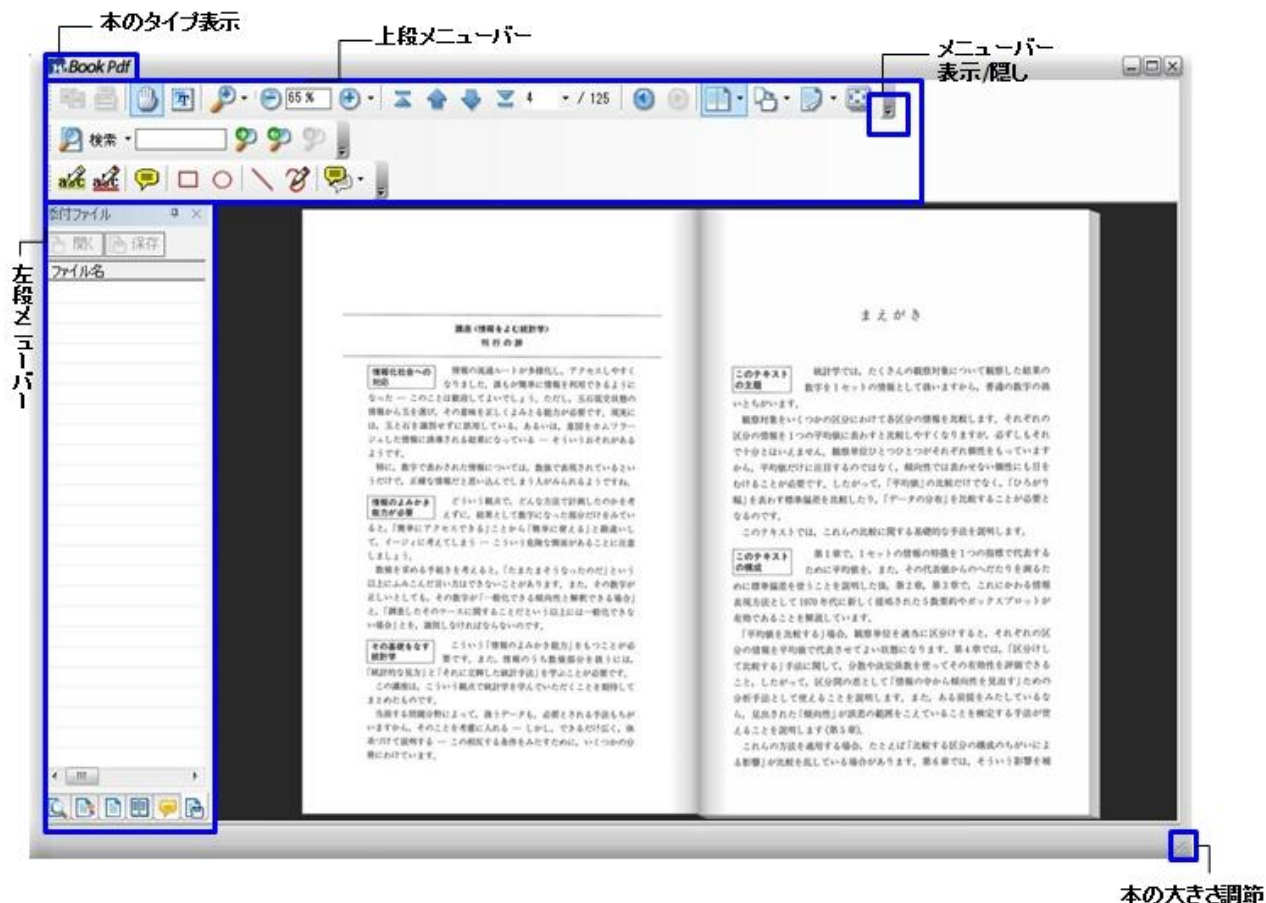
※ OMR カードボタンをクリックすると、問題を解く OMR カードが表示され、ページをめくりながら問題を解きます。そのあと、「採点する」ボタンをクリックすると正解を確認できます。

※ 採点後、OMR カードの「解説」ボタンをクリックすると該当問題の解説ページに移動します。

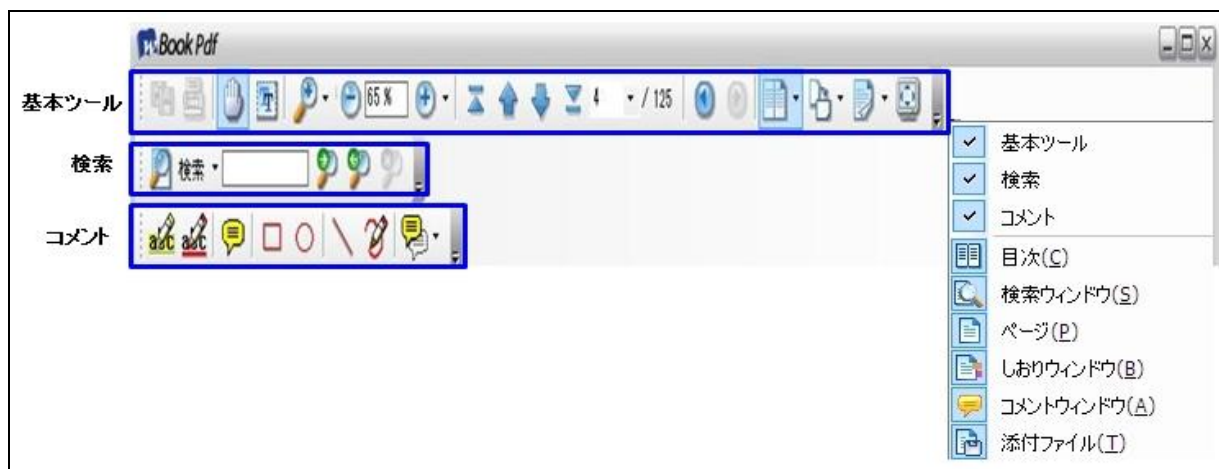
2) WbookPDFリーダー

I. Wbook PDFリーダー 画面構成

Wbook PDFリーダーでは、下記のような機能を使って、電子図書をより有用に閲覧することができます。各機能は、該当するアイコンをクリックすることで簡単にご利用いただけます。



II. 上段メニューバー機能



※ 上段メニューにマウスをあてがい、マウスの右ボタンをクリックすると該当機能のメニューバーの表示・非表示をチェックすることができます。

II-1. 基本ツール



- ① カーソルを表示
- ② テキストの選択
(原本がテキストベースで作成された電子図書のみ使えます。)
- ③ 拡大(+)**・**縮小(-)ツール
画面にカーソルをあてて、電子図書の画面をクリックして拡大**・**縮小ができます。
- ④ 拡大(+)**・**縮小(-)ツール
(+)、(-)ボタンで画面の拡大**・**縮小ができます。
さらに、(+)ボタンの拡張ボタンを使ってより細かい設定までできるようになっております。
- ⑤ ページの移動
アイコンの順に、トップページへジャンプ、戻る、次へ、最後のページへジャンプします。
ボックスの中には、現在ページの表示されています。この数字を入力すると該当するページにジャンプします。
- ⑥ 電子ブックの表示
利用者が読みやすいように、ページの見方(片面表示、両面表示、連続片面表示、連続両面表示)を選ぶことができます。
- ⑦ ページの回転
ページを時計回りなどに回転させることができます。
- ⑧ ページめくり
ページを自動、左右、上下にめくることができます。
- ⑨ 全体画面表示(キャンセルの場合は、ESCキーをクリック)

II-2. 検索



- ※ 検索オプションをチェックし、電子図書の本文の内容を検索できます。
(**・**本文がテキスト情報を持つ電子図書のみ本機能を使えます。)

II-3. コメント



① 選択したテキストを蛍光ペンでマーキング

② 選択したテキストに下線を引く

(※①、②の機能は、電子図書が画像で構成されている場合はご利用できません。)

③ メモする

④ 四角形を描く

⑤ 円を描く

⑥ 直線を描く

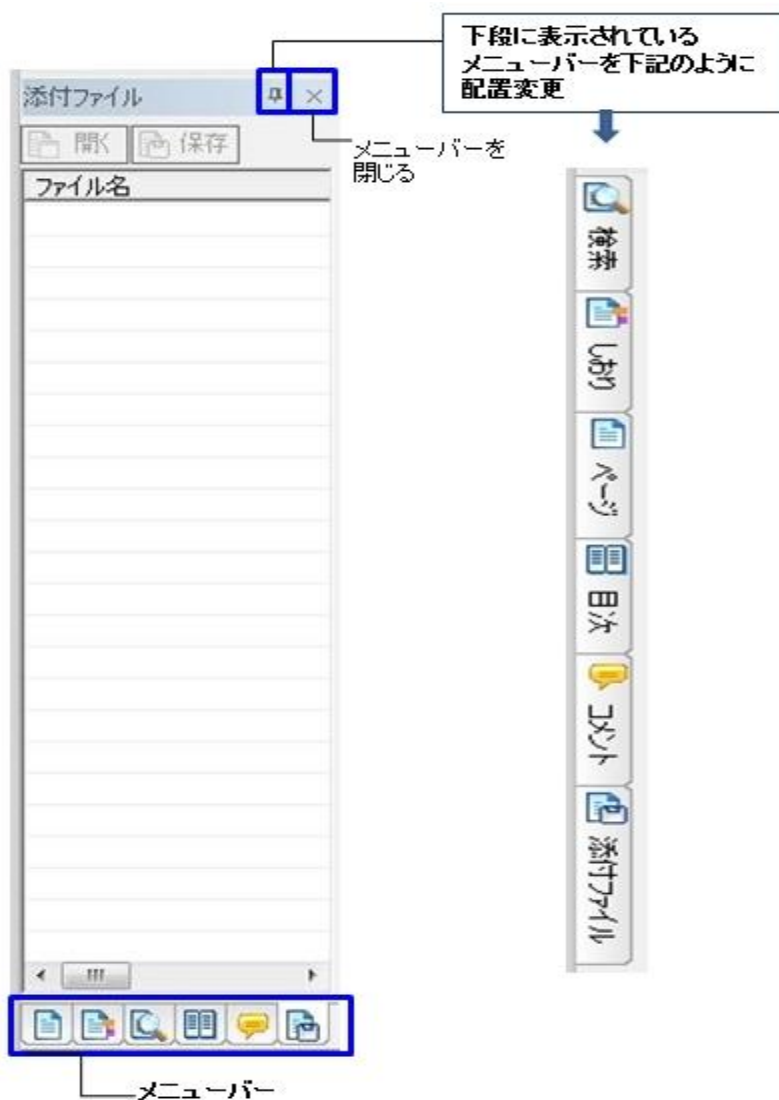
⑦ 曲線を描く

⑧ メモの表示・非表示

(※メモの表示・非表示をクリックすると、メモ機能のサブメニューが表示され、多様な機能を利用できます。)

※ コメントの削除：各ページから該当するコメントを1回マウスでクリックし、マウスの右ボタンのメニューの削除を選択するか、左側のメニューからコメント一覧を確認及び削除できます。

Ⅲ. 左段メニューバーの機能



Ⅲ-1. 検索



※本文内容から単語または、文章を検索することができます。

※原本がテキスト情報をもつ電子図書のみ使えます。

III-2. しおり



※しおりをはさみたいページに、しおりを追加できます。

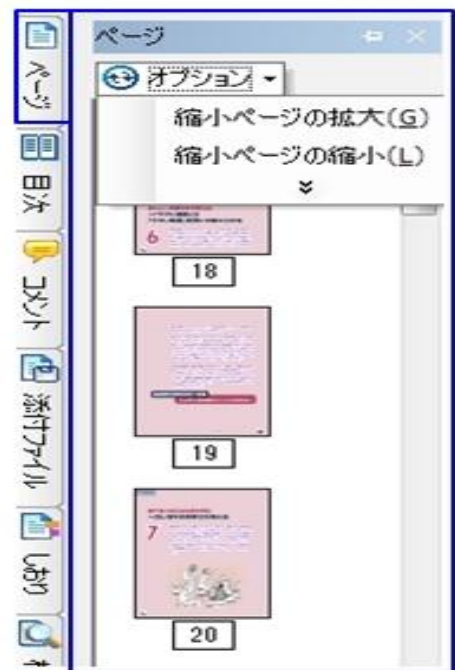
ページごとに利用者の好みの色でしおりを追加することもできます。

III-3. ページ

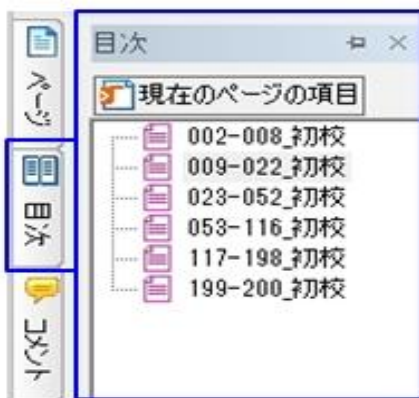
※ 全体ページの一覧のサムネイルが表示されます。

※ ページをクリックすると、該当ページにジャンプします。

※ オプション機能を使って、ページの拡大・縮小を調節できます。

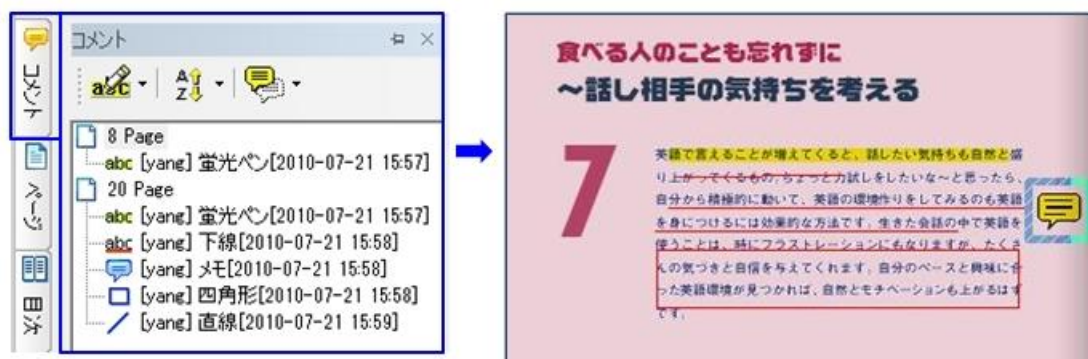


III-4. 目次



※ 目次をクリックすると、該当ページにジャンプします。

III-5. コメント



<PDFリーダー上のコメント入りの20Page >

- ※ 上段メニューの「コメント」機能と同じです。
- コメントを付けた全てのリストから確認・削除することができます。

III-6. 添付ファイル



- ※ 電子図書に添付されているファイルの一覧が表示されます。
- ※ ファイル名をクリックすると、該当ファイルを開けます。

5. 閲覧環境

** 利用者推奨環境 **

- ・ CPU:PentiumIV以上推奨
- ・ Memory:256メガバイト以上推奨
- ・ HDDスペース:1G バイト以上推奨
- ・ Display:1024 × 768 ピクセル以上
- ・ OS:Windows2000、XP、Vista、7
(※Windows7の64ビット版では、32ビット互換モードで動作します。)
- ・ ネットワーク:ブロードバンド推奨
- ** Web図書館コンテンツ閲覧に必要なバージョン **
- ・ Internet Explorer 6.0 以上推奨
- ・ Windows Media Player9 以上推奨
- ・ Flash Player: 10以上